

『大阪朝日新聞北支版』
 1938年9月18日

『大阪朝日新聞北支版』
 1942年6月11日

奥地へ新鮮な魚菜を

冷蔵車が目覚ましい活躍

【北京特信】華北交通運輸局では、近く関係者を多集の上、食料品輸送改善打合會議を開き、夏季食料品の輸送に対し協議し、改善に万全を期する。華北交通には現在最新式冷蔵車が四十輛あり、別に同社保有の冷蔵車、通風車があり、生物輸送

には著るしい充実を見せてゐる、すなはち暑氣の來襲とともに各線にわたり活躍を開始したが、中でも豊台―天津間の野菜、青島―濟南間の野菜、生果、青島―天津―前門間の鮮魚、冷凍魚、北塘―北京、北塘―山海關の鮮魚輸送など

に目覚ましい活躍振りをを見せてゐるが、新造冷蔵車は亦四ノを運せて青島を出れば大原、四ノまで一氣に悠々走れる優勢車でも四ノ、大原で「おさしみ」に舌鼓を打てるといふわけであるが、近く開始される食料品輸送改善打合會議の結果は更に一段新鮮な魚菜が奥地で食卓に上るとならう

瀬戸内海の鮮魚
 大陸特急で食卓に

【北京特信】北京人のお台所をにぎはしてゐた食料品はこの八月以來コレラ殺生に伴つて非常なる警戒をされ、六、七月の多雨降雨により蔬菜の不作と相まつて非常なる支障

を來してゐたが、八月中旬以來の好天氣に依つて蔬菜の收穫は良好となり、最近では外地移出までされてゐる現状で一應蔬菜供給は打明されたが、コレラ殺生のコレラのために生

魚の輸入が全然とだえてゐたが九月に入つて断えざる市筋生局の不眠不休の防疫に依つて新殺生を殺見せざる有様と

なつたので、遂次各地海岸より生魚の移入が始まるだらうと豫想され、一般人の食慾をそつてゐたところ、更に十月一日より釜山北京直通列車が開始されるとなると、また瀬戸内海の新鮮なる生魚が續々と北京入りをして食卓をにぎはすことになり、秋の食料品問題もやゝこれで一段落

北京人の味覺に朗報